

I O T B R A N D C O N C E P T

Vol.2



進化する技・深化する知

ものつくり大学

INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

20Tth
Anniversary 2001-2021

ものづくり大学におけるブランドとは？

2020年度4月に制定したタグライン(ブランドスローガン)は「進化する技・深化する知」。「技」と「知」は、テクノロジストにとって欠かすことのできない両輪であり、同時に私たちの教育にかける熱い思いを表わしています。学生一人ひとりが自らの夢を実現するために挑戦し続けて、社会と共に発展・成長していく。私たちは常に技術・技能の進化と、知識を深めていくための努力を惜しまず、学生や社会に対して「技」と「知」を継続して提供していかなければなりません。本学におけるブランドとは、この実践と理論が一体であるという「知行合一」の追求なのです。

ものづくり大学の「技」と「知」とは？

ものづくり大学は、基本的技能と「ものづくり魂」を基盤に据え、そこに科学・技術の知識とマネジメント能力を加え、新時代を切り拓く感性と倫理観を備えた人材の育成を目指しています。ここでは実学を重視し、従来のように理論から入るのではなく、まず現実ものに接し、ものの命を体感、体得し、そこから問題を発見し、自らその解決方法を見出し、自ら企画して製作するというプロセスを大切にしています。

そのため、従来の理工科系大学とは全く発想を変え、4年間の学びの約6割が実習科目であり、長期間のインターンシップを取り入れています。このようにして、「ものづくり」を通して、目指してほしい学びの姿勢、身に付けてほしい能力、そして本学が学生の皆さんに支援する学びや環境を明確に表しているのが、下記の基本理念です。この基本理念をもとに、自己実現できるパイオニアを育成する。それが、ものづくり大学です。

ものづくり大学の基本理念

1. ものづくりに直結する実技・実務教育の重視
2. 技能と科学・技術・経済・芸術・環境とを連結する教育・研究の重視
3. 時代と社会からの要請に適合する教育・研究の重視
4. 自発性・独創性・協調性をもった人間性豊かな教育の重視
5. ものづくり現場での統率力や起業力を養うマネジメント教育の重視
6. 技能・科学技術・社会経済のグローバル化に対応できる国際性の重視

ものづくりの拠点がグローバル化し
国内産業が弱体化するなか、国内基盤の再構築を目的に
国や産業界から大きな期待を受けて
2001年、21世紀の幕開けとともに開学したものづくり大学。
英語名Institute of Technologistsは、
社会生態学者であり米国クレアモント大学院大学教授であった
故ピーター・F・ドラッカー氏によって名づけられました。
「テクノロジスト」とは、単に理論がわかるだけでなく、
高度な技術・技能を理解して、ものづくりができる人のことです。
この「テクノロジスト」として社会貢献ができるよう、
ものづくり大学ではよりよい大学づくりを通し
学生へ約束した新たな価値を提供しています。

ものづくりで未来を支える 「テクノロジスト」を育成する

Technologist

Technologist

未来のテクノロジストたちへ

1

**即戦力になれる
学びがあります。**

ものづくり大学の大きな特徴は、実習と座学が6:4という実践重視のカリキュラムです。実体験と知識が融合されることで、アイデアを具体的な形にできる技術者を育成しています。教員の半数以上が日本を代表する企業の実務経験者で、充実した実習を支えています。さらに、長期インターンシップでは、工学分野において40日間（最長80日）にわたり企業現場で働き、即戦力となるテクノロジストを育成します。

2

**真摯に「ものづくり」に関わり、
自己実現を可能にします。**

ものづくり大学は開学以来平均96%の就職率を達成しています。企業や仕事のことをよく理解し就職するため、入社3年後の離職率も極めて低く、トヨタグループや日立グループ、清水建設グループ、大和ハウスグループなど大手企業への就職者を多数輩出しています。多くの仕事がAIに置き換わると言われる不確実な時代だからこそ、分野横断で活躍できるテクノロジストを育成します。

3

自らの能力に誇りを持てる「技」と「知」が身につきます。

ビッグデータやAIの重要性も叫ばれるようになり、製造業ではIoT（モノのインターネット）技術の発展により自動化が加速しています。しかし、AIなどを恐れるのではなく、その本質を理解し、ツールとして上手に使いこなす力を身につけることが大切です。本学では、時代を見据えて物事の本質を見抜き、新しいものづくりに挑む力を養い、より難しい課題を解決できるテクノロジストを育成します。